サニーブリーズフェンス（ベースプレート仕様）

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等への危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

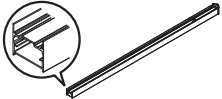
安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中･軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

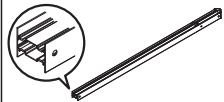
<施工の前に>

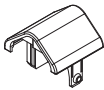
注意

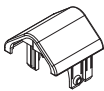
●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
●フェンスは隣地境界線を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。
●部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
・当製品は、木粉入り高密度樹脂製でできており、熱変形することがあります。 取扱いには十分ご注意ください。
・平らな場所に保管してください。（立てかけて置かないでください）
・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
●設置場所を確認してください。
・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。
熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
●開き戸を取付けることはできません。
●施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

注 意

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

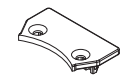
■梱包明細表

【1】フェンス本体

名　称	略　図	員　数
フェンス本体		1

【3】端柱

名　称	略　図	員　数
端柱		1

【2】主柱（ベースプレート用）

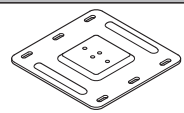
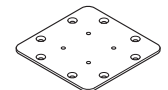
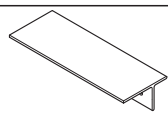
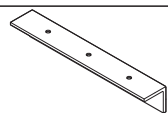
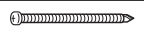
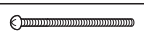
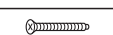
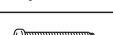
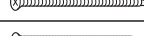
名　称	略　図	員　数
主柱		1

【4】主柱部品セット

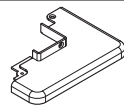
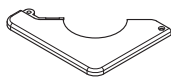
名　称	略　図	員　数
主柱キャップ		1
多段クッション材		1
【4-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種 D=8		1
【4-2】φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8		8

【5】端柱部品セット

名　称	略　図	員　数
端柱キャップ		2
多段クッション材		1
フェンス用注意シール		1
【5-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種 D=8		2
【5-2】φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8		8
取付説明書〈E290〉	−	1
取扱説明書〈UC016〉	−	1

【6】コーナー柱

名　称	略　図	員　数
コーナー柱(ベースプレート用)T-16·T-18		1
コーナー枠(ベースプレート用)T-16·T-18		1

【7】コーナー柱部品セット

名　称	略　図	員　数
コーナー枠キャップ		4
多段クッション材		1
【7-1】ϕ4×12サラタッピンネジ2種 D=8		8
【7-2】ϕ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8		14

【8】柱控え部材セット

名　称	略　図	員　数
柱控え部材		1
【8-1】ϕ5×30ナベドリルネジ		2
【8-2】ϕ5×70ナベドリルネジ		3

【9】ベースプレートセット

名　称	略　図	員　数			
		大引き固定用	床板補強材固定用	床板固定用	コーナー柱固定用
ベースプレート		1	1	1	―
ベースプレート(コーナー柱用)		―	―	―	1
フェンス-大引き固定アングル		2	―	―	―
フェンス固定アングル		―	―	2	2
【9-1】ϕ4×13ナベドリルネジ		4	―	―	―
【9-2】ϕ5×60ナベドリルネジ		6	6	5	―
【9-3】M5×60トラス小ネジ		―	―	2	―
【9-4】ϕ4×30サラタッピンネジ2種 G=5		―	―	―	4
【9-5】ϕ4×40ナベタッピンネジ2種 G=5		4	4	4	―
【9-6】ϕ5×65サラドリルネジ		―	―	―	5
【9-7】M5×60サラ小ネジ		―	―	―	2

E290_200902A

■梱包明細表つづき

【10】ベースプレートカバーセット

名　称	略　図	員　数		
		主　柱	端　柱	コーナー柱
ベースプレートカバー		2	2	ー
ベースプレートカバー（コーナー柱用）		ー	ー	2
【10-1】φ4×8サラタッピンネジ3種 D=6		4	4	ー
【10-2】φ4×20サラタッピンネジ1種 D=6		ー	ー	2

E290_200902A

1. 基本寸法図

1-1 T-16・T-18（主柱と端柱には、柱控え部材を必ず取付けてください。）

50
110
60
90°
110
躯体側
端柱
主柱
フェンス本体
コーナー柱
H
45
ベースプレート
カバー
G.L.
□146
（カバー）
A
40
□146
（カバー）
1000（柱芯々）
1035（柱芯々）
49.5
70
□146
□146
289.5
G.L～F.L
最大1000

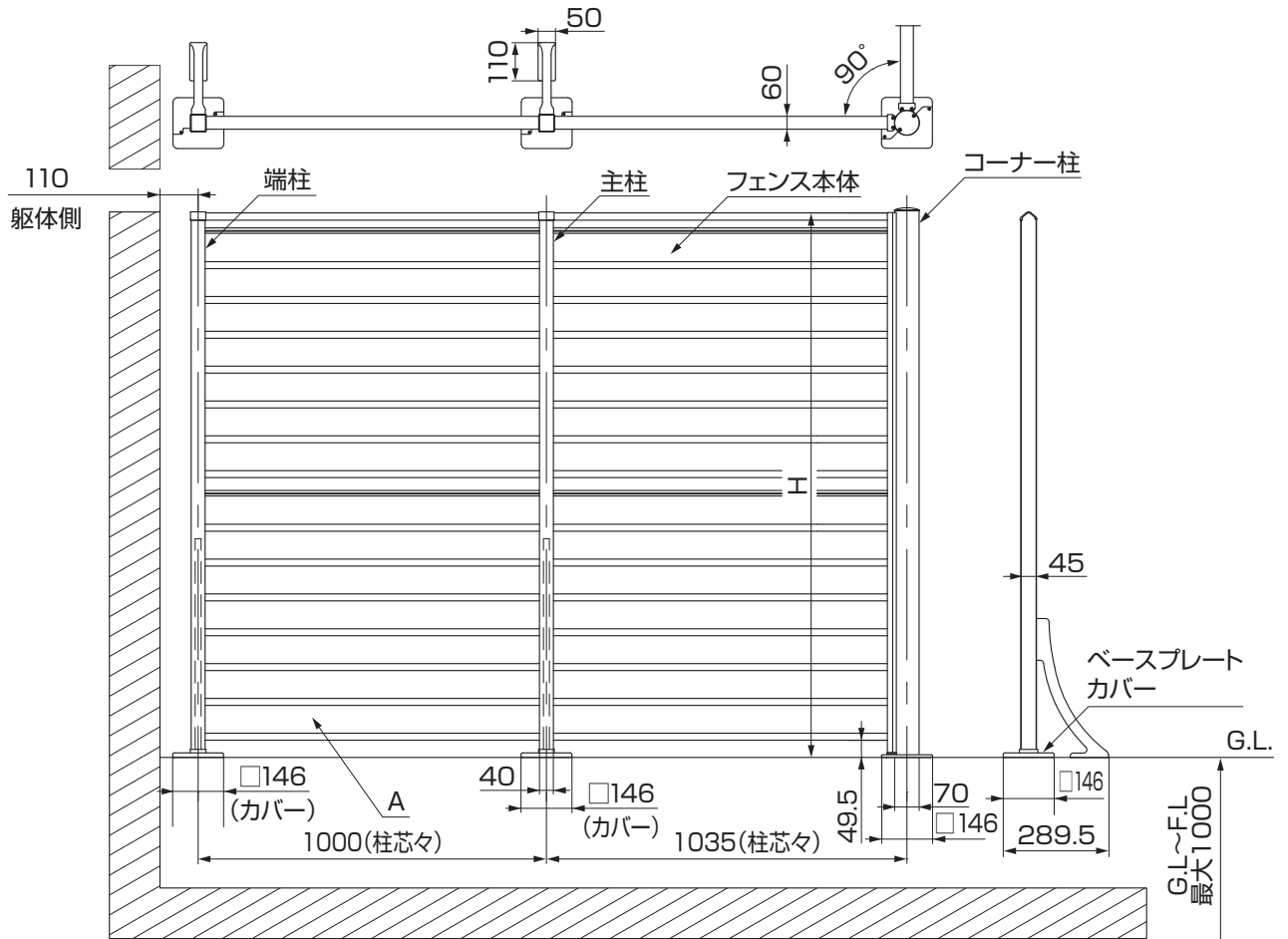



表1-1

サイズ	H	A
T-16	1563.5	フェイス本体T-8
T-18	1763.5	フェイス本体T-10

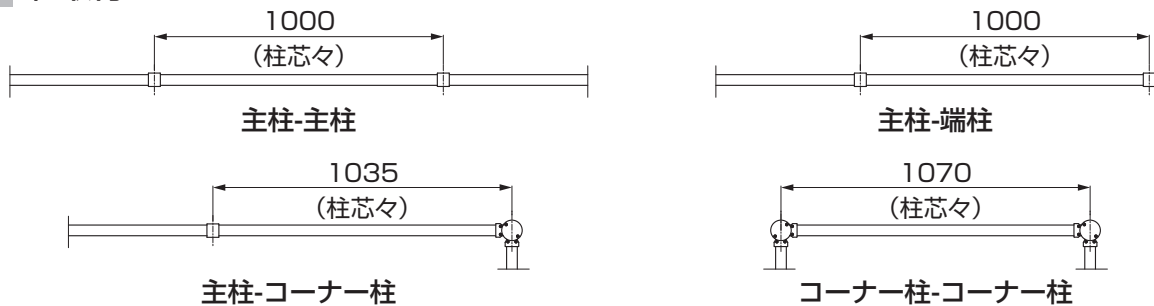
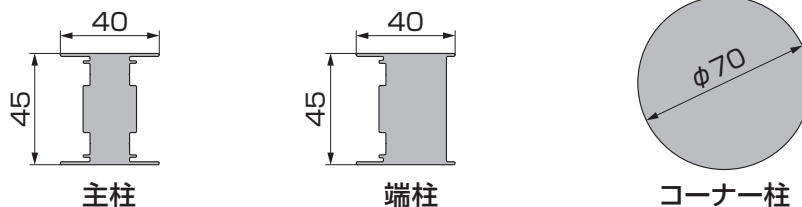
1-2 柱取付ピッチ

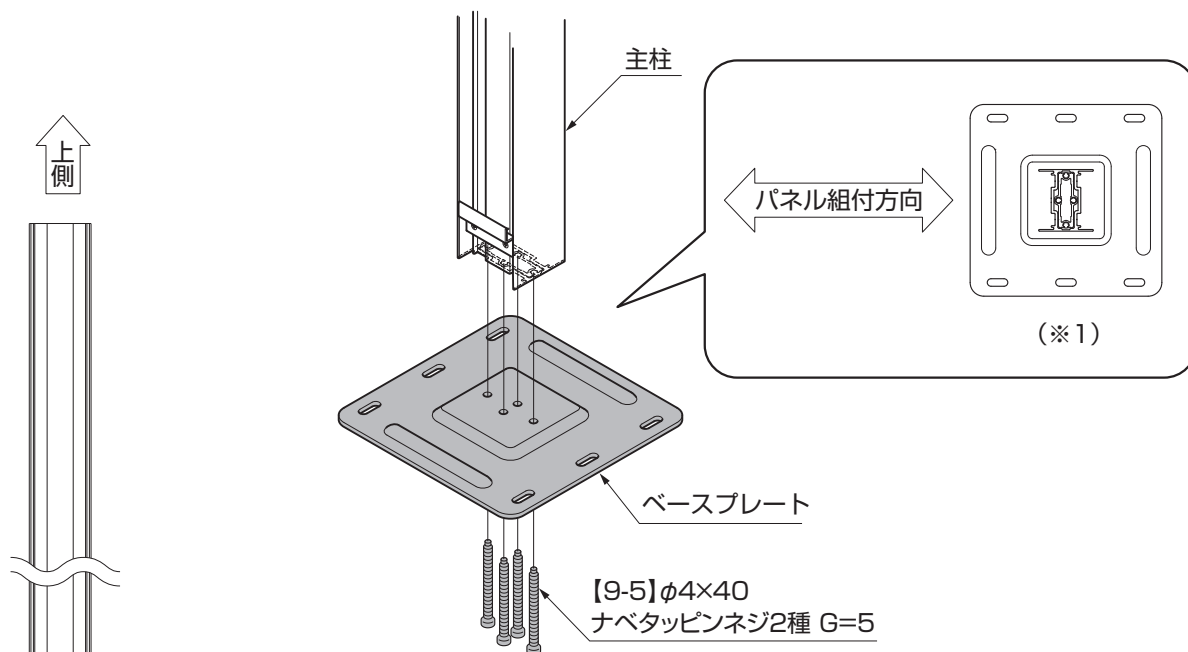
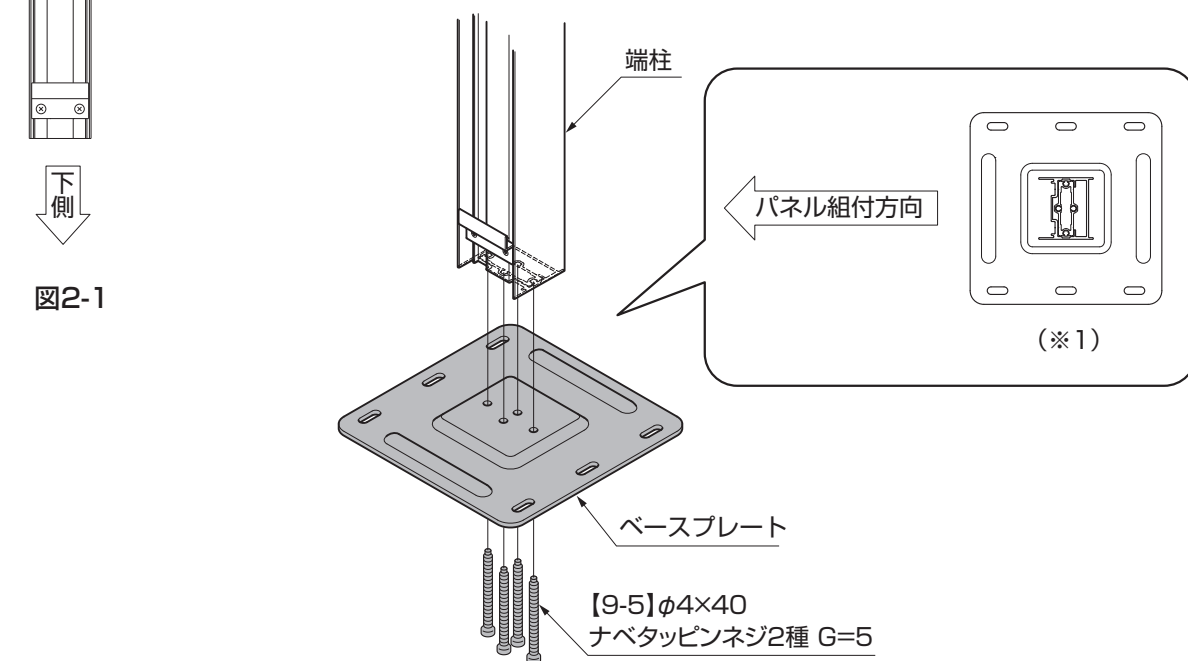
1-3 柱形状

主柱

端柱

コーナー柱

E290_200902A

2. 柱の準備

2-1 主柱・端柱の場合

補 足

●柱には上下の区別があります。(図2-1参照)

①ベースプレートの裏側から柱を【9-5】で4ヶ所、ベースプレートの向きに注意して固定してください。(※1)

E290_200902A

3. 柱の組付け

3-1 ベース柱

（1）正面床板固定の場合

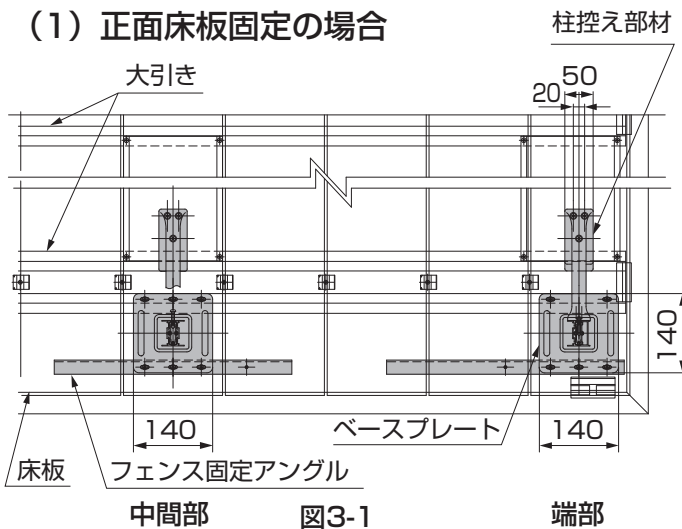
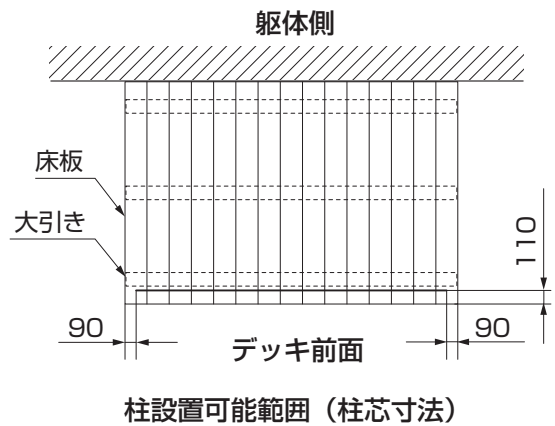
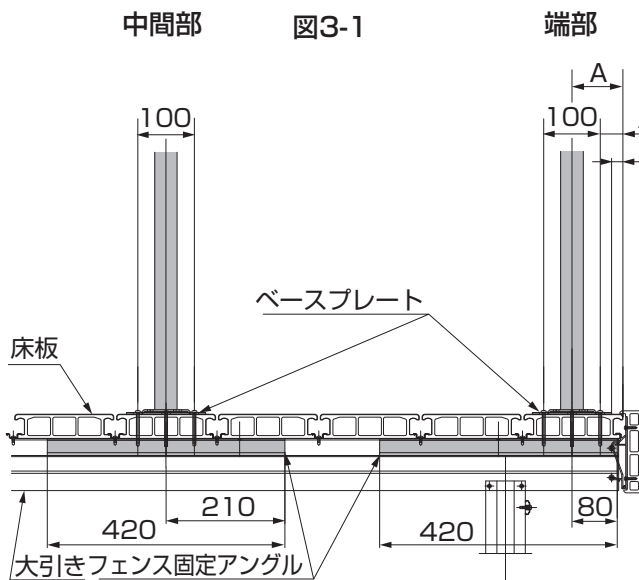
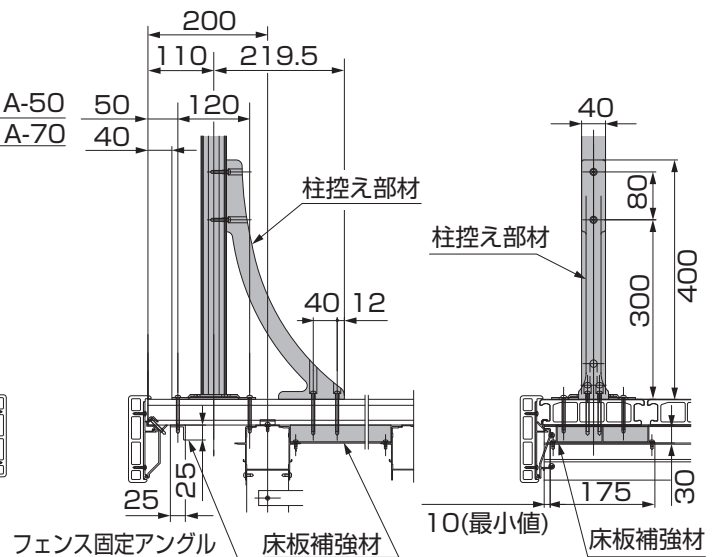
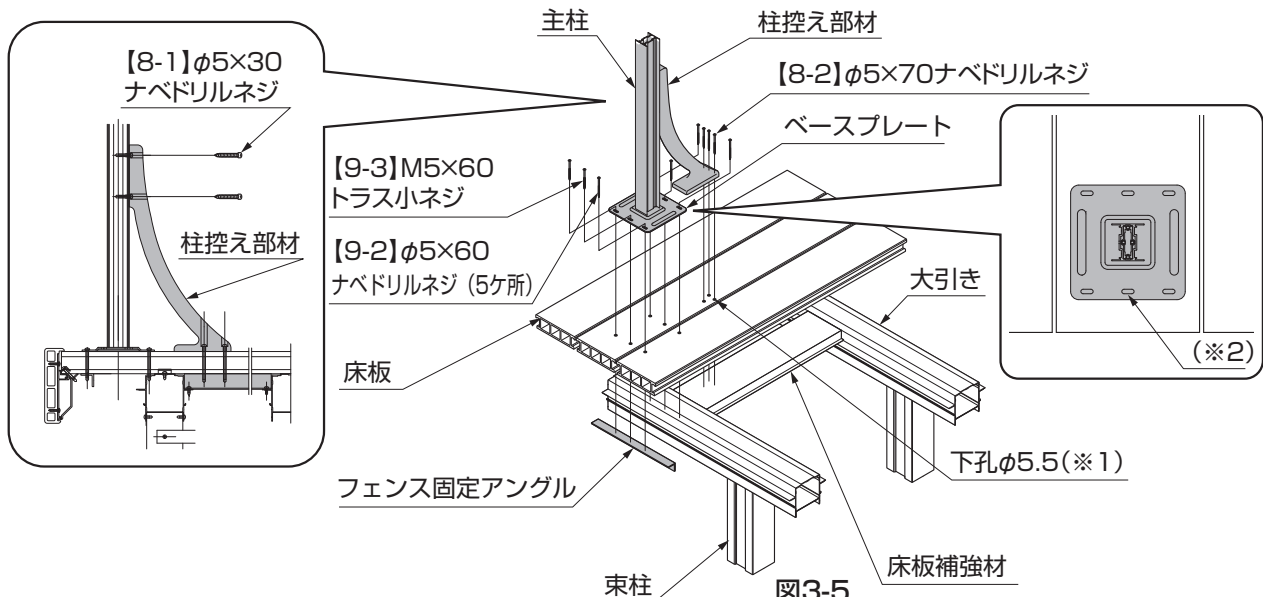
柱控え部材
大引き
20 50
140
床板
フェンス固定アングル
ベースプレート
140 140
中間部 図3-1 端部

躯体側
床板
大引き
110
90 デッキ前面 90
柱設置可能範囲（柱芯寸法）
図3-2

100
ベースプレート
床板
A
100 A-50 A-70
210
420 420 80
大引き フェンス固定アングル
図3-3

200
110 219.5
50 120
40
柱控え部材
40 12
25 25
フェンス固定アングル 床板補強材
40
80
柱控え部材
300 400
175
30
10(最小値) 床板補強材
図3-4

主柱
柱控え部材
【8-1】φ5×30
ナベドリルネジ
【8-2】φ5×70ナベドリルネジ
ベースプレート
【9-3】M5×60
トラス小ネジ
【9-2】φ5×60
ナベドリルネジ（5ケ所）
柱控え部材
大引き
床板
（※2）
下孔φ5.5（※1）
フェンス固定アングル
床板補強材
束柱
図3-5

E290_200902A

3. つづき

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- ●デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。
- ●デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には図3-1、図3-2、図3-3、図3-4を参照して取付けてください。
- ●図3-3のA寸法値の最小値は90mmです。
- ●図3-3のA寸法値の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。
- ●柱控え部材は必ず、床板補強材のある位置に固定してください。

②柱と柱控え部材を取付けるネジ位置をマーキングしてください。
③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。（※1）
④ベースプレートを【9-2】で、床板の下の大引きまで3ヶ所取付けてください。
⑤デッキ前面の中心の下孔とフェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートを【9-3】で取付けてください。（※2）
⑥【9-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて2ヶ所取付けてください。
⑦柱控え部材を【8-2】で、床板の下の床板補強材に固定してください。
⑧柱に柱控え部材を【8-1】で、固定してください。

（2）正面大引き固定の場合

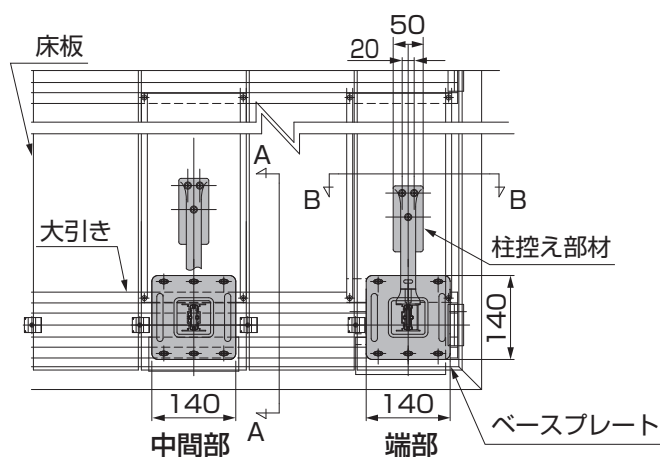



図3-6

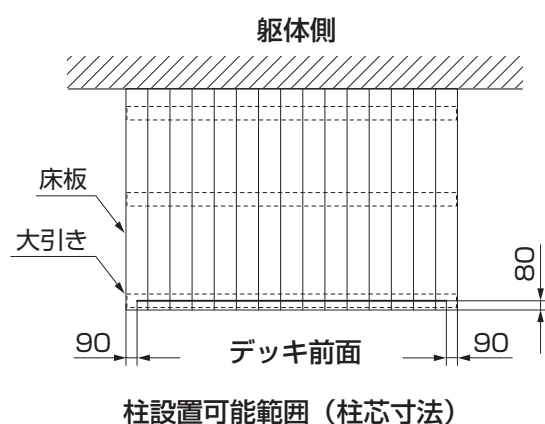



図3-7

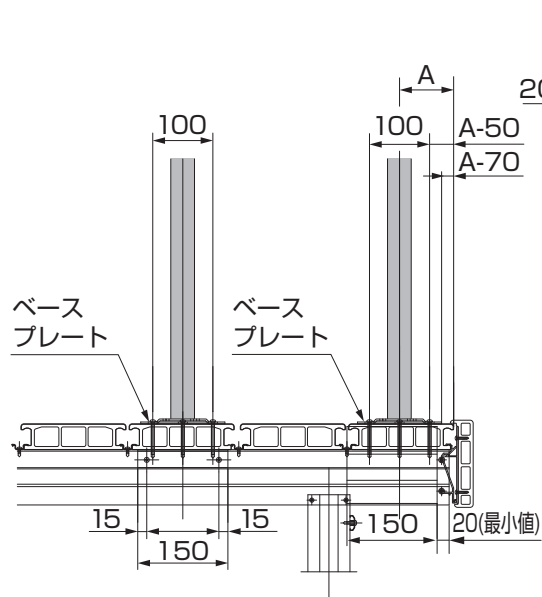



図3-8

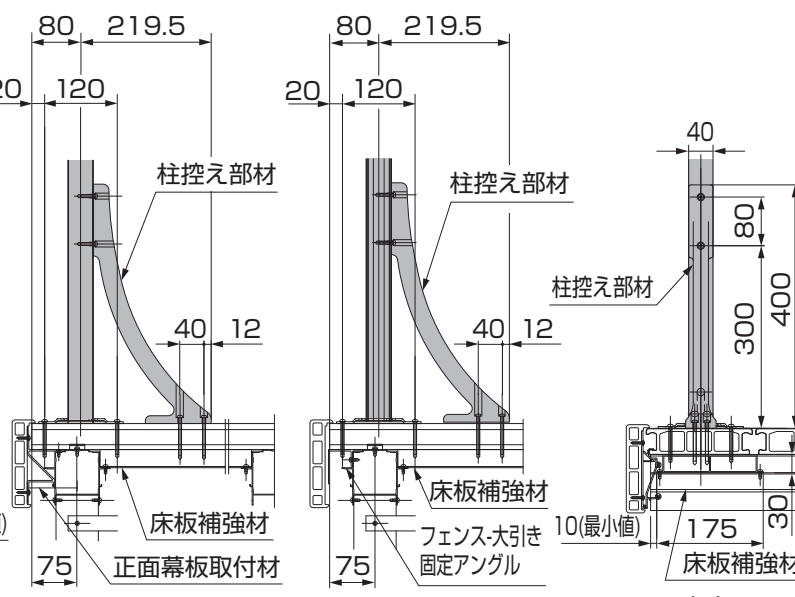



図3-9

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- ●デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。
- ●デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には図3-6、図3-7、図3-8、図3-9を参照して取付けてください。
- ●図3-8のA寸法値の最小値は90mmです。
- ●図3-8のA寸法値の最大値は、フェンス-大引き固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。
- ●柱控え部材は必ず、床板補強材のある位置に固定してください。

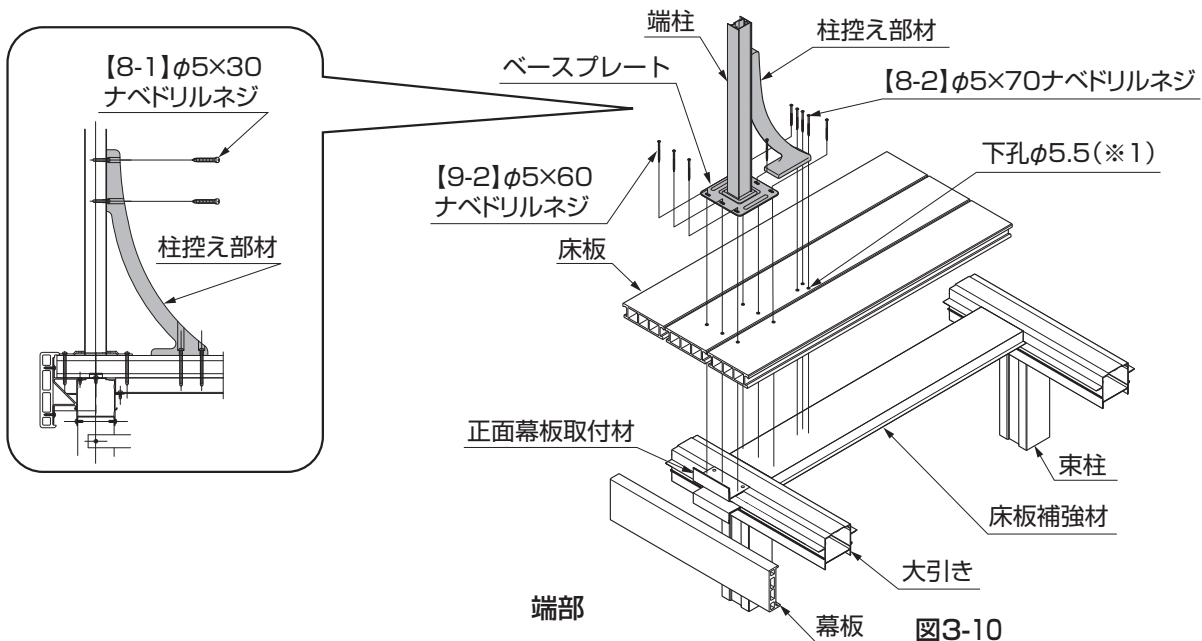



図3-10

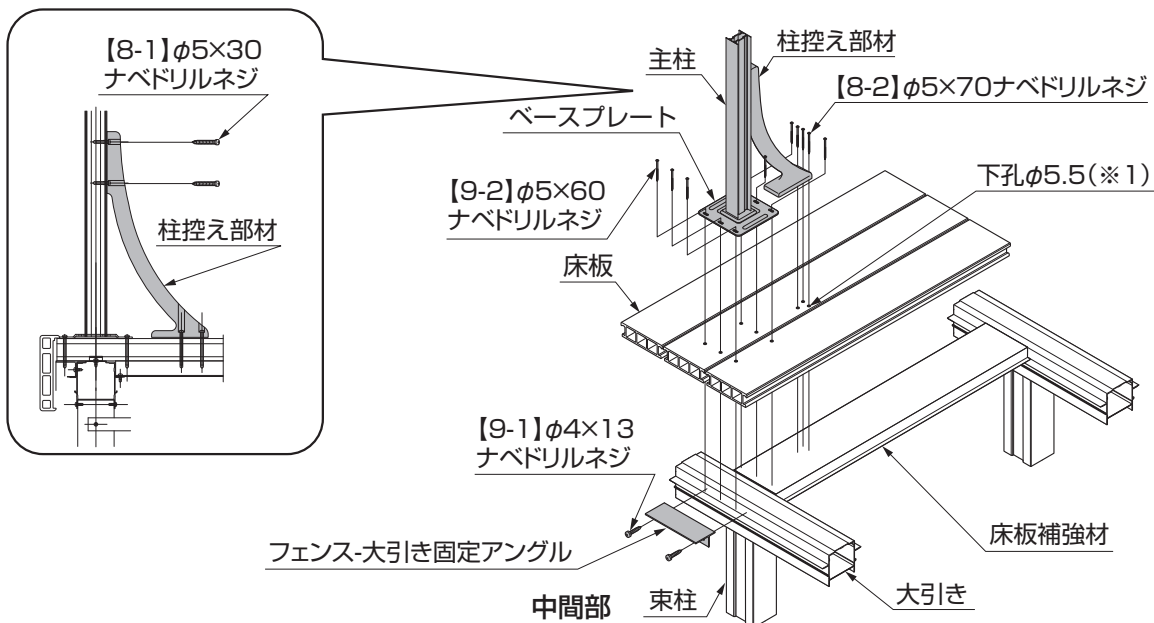
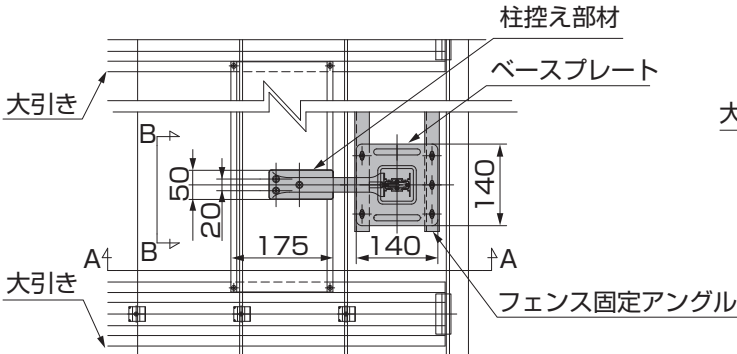
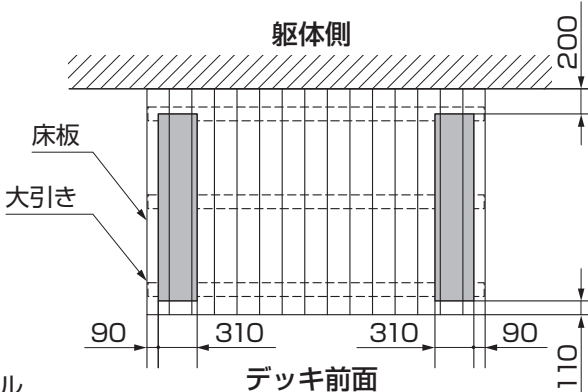



図3-11

②柱と柱控え部材を取付けるネジ位置をマーキングしてください。
③マーキングした床板に、φ5.5の下孔をあけてください。（※1）
④中間部の場合は、大引きにフェンス-大引き固定アングルを、【9-1】で取付けてください。
⑤ベースプレートを【9-2】で、床板の下の正面幕板取付材またはフェンス-大引き固定アングル、床板補強材に固定してください。
⑥柱控え部材を【8-2】で、床板の下の床板補強材に固定してください。
⑦柱に柱控え部材を、【8-1】で固定してください。

3. つづき

（3）側面床板固定の場合

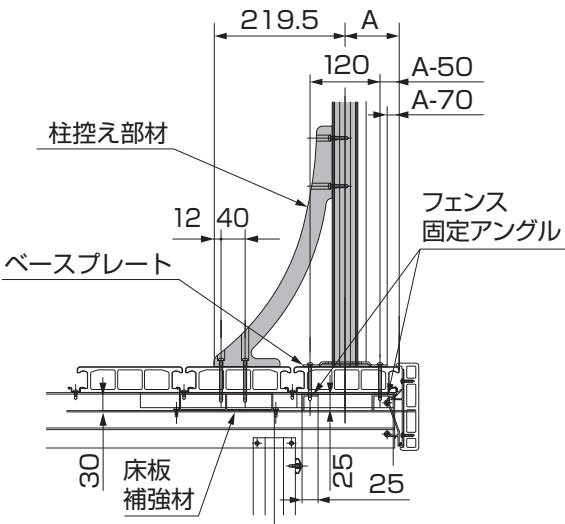
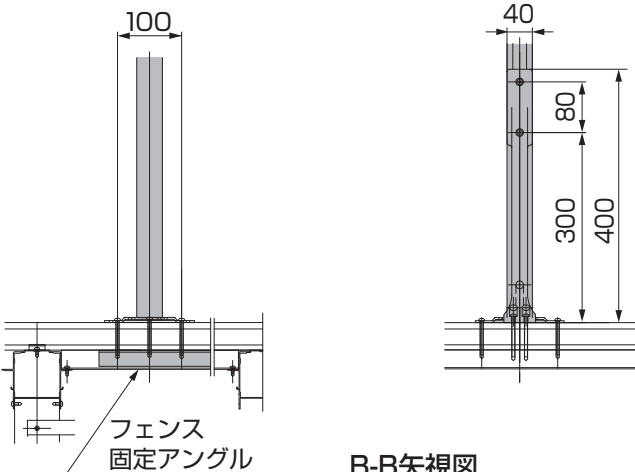
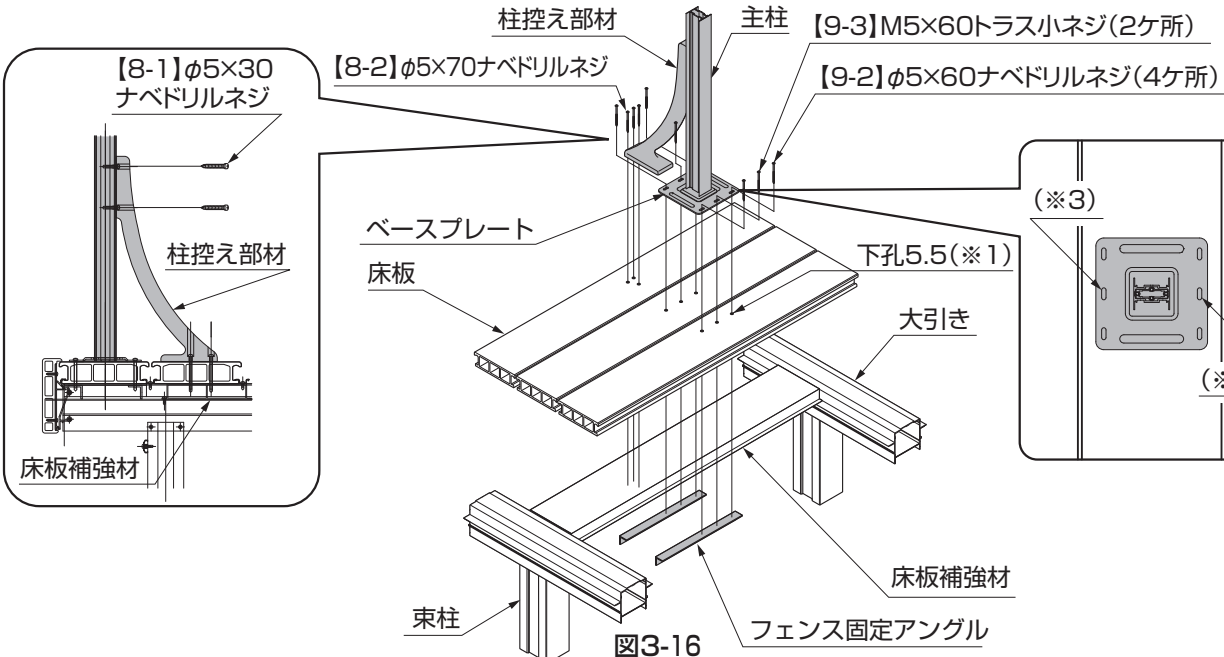
図3-12

図3-13

図3-14　A-A矢視図

図3-15

図3-16

E290_200902A

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- ●デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。
- ●デッキに図3-12、図3-13、図3-14、図3-15を参照して取付けてください。
- ●図3-14のA寸法値の最小値は90mmです。
- ●図3-14のA寸法値の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。
- ●柱控え部材は必ず、床板補強材のある位置に固定してください。

②ネジ位置をマーキングしてください。
③マーキングした床板にφ5.5の孔をあけてください。(※1)
④フェンス固定アングルが大引きに干渉する場合は切断してください。(※2)
⑤デッキの中心の下孔とフェンス固定アングルの下孔を合わせてベースプレートを【9-3】で2ケ所取付けてください。(※3)
⑥ベースプレートを【9-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて4ケ所取付けてください。
⑦柱控え部材を【8-2】で、床板の下の床板補強材に取付けてください。
⑧柱に柱控え部材を【8-1】で、固定してください。

(4) 側面床板補強材固定の場合

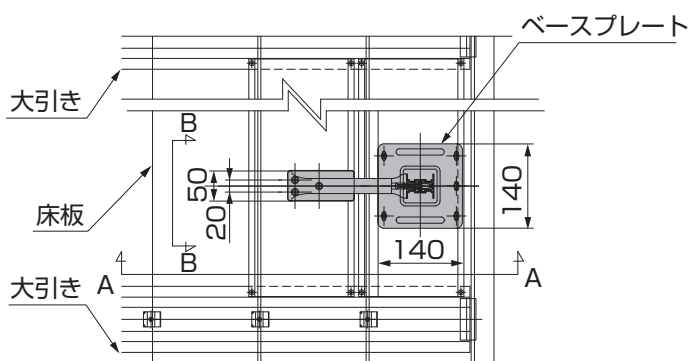
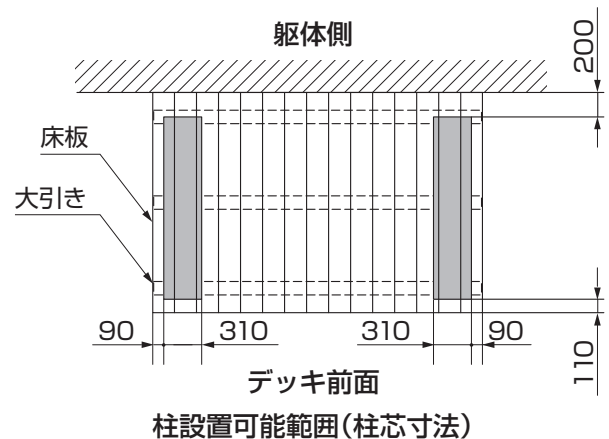



図3-17

柱設置可能範囲(柱芯寸法)
図3-18

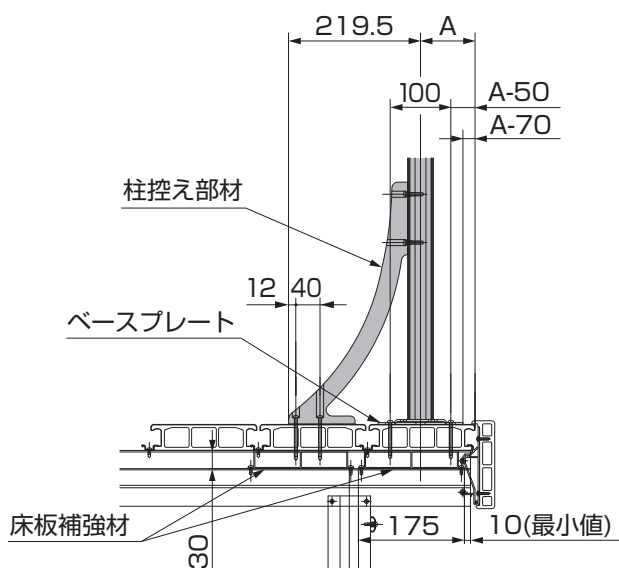
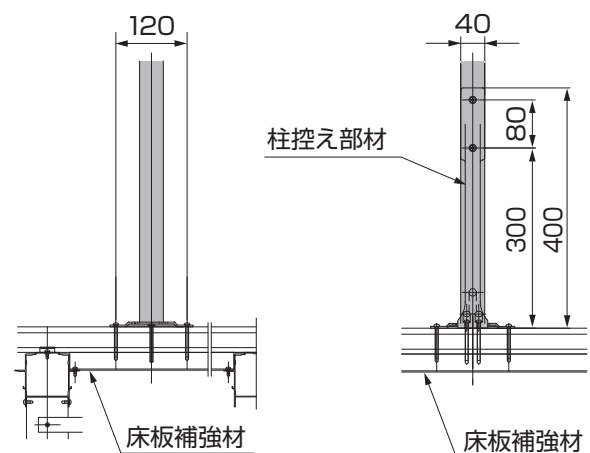
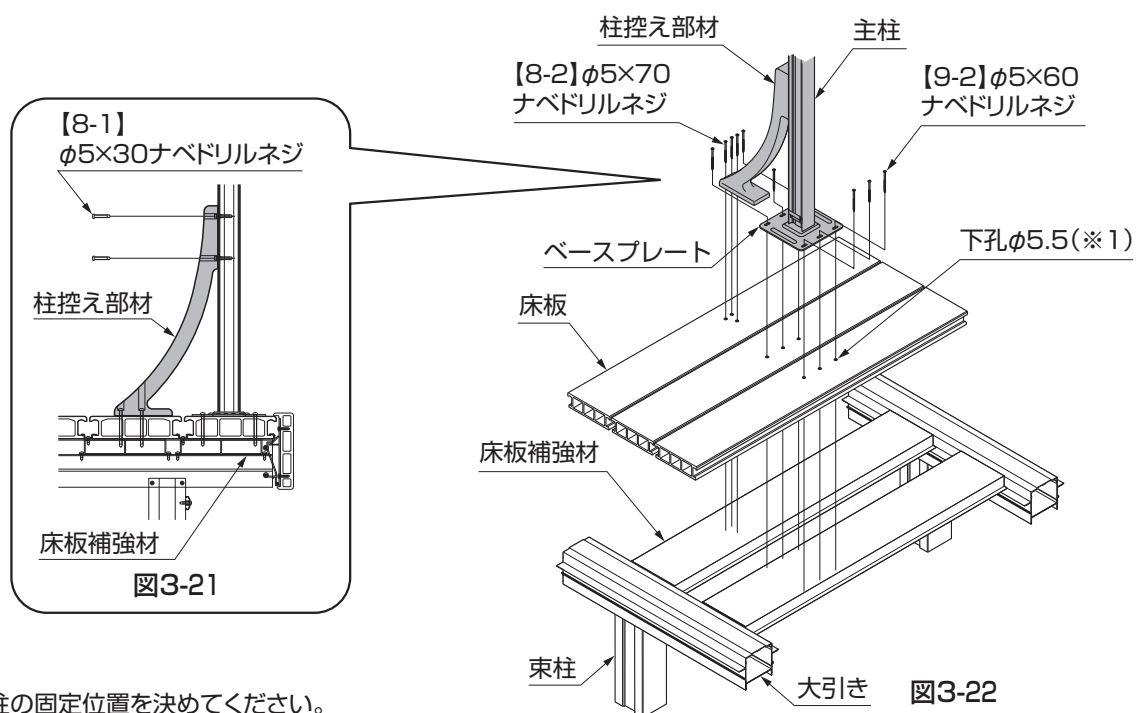



図3-19　A-A矢視図

B-B矢視図
図3-20

3. つづき

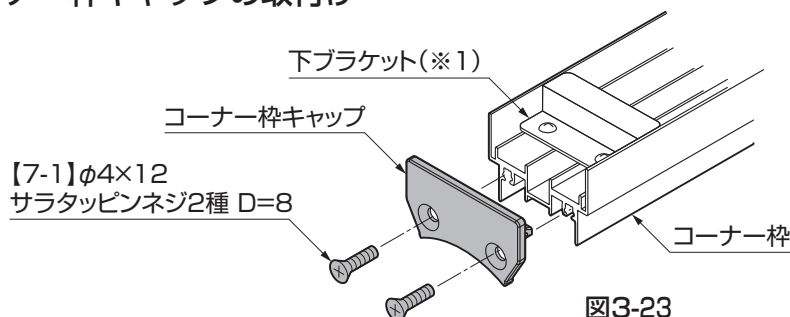
図3-21
図3-22

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- ●デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。
- ●デッキに図3-17、図3-18、図3-19、図3-20を参照して取付けてください。
- ●図3-19のA寸法値の最小値は90mmです。
- ●柱および柱控え部材は必ず、床板補強材のある位置に固定してください。

②ネジ位置をマーキングしてください。
③マーキングした床板に、φ5.5の下孔をあけてください。（※1）
④ベースプレートを【9-2】で、床板の下の床板補強材に取付けてください。
⑤柱控え部材を【8-2】で、床板の下の床板補強材に取付けてください。
⑥柱に柱控え部材を【8-1】で、固定してください。

3-2 コーナー枠キャップの取付け

図3-23

コーナー枠の下端にコーナー枠キャップを【7-1】で取付けてください。

ポイント

- ●コーナー枠をコーナー柱に取付ける前に必ず、コーナー枠下部にコーナー枠キャップを取付けてください。コーナー枠を取付けた後ではコーナー枠キャップを取付けることができません。
- ●下ブラケットの付いている側がコーナー枠下端です。（※1）

3-3 コーナー柱（ベース仕様）の取付け

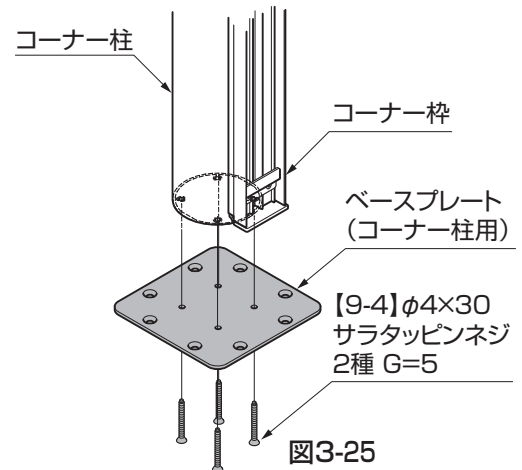
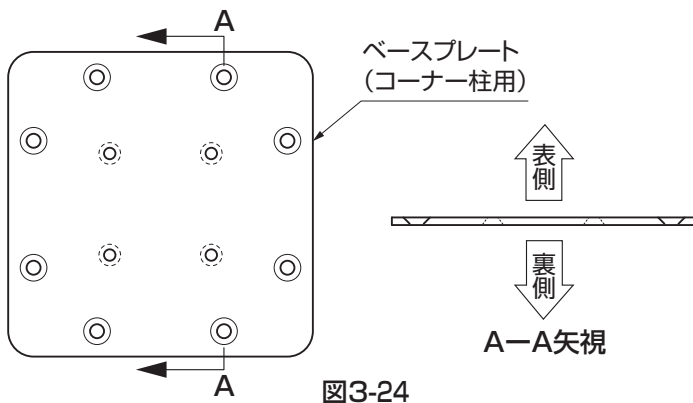



図3-24

図3-25

ポイント

●外側のサラ孔が上向きになっている面が表側です。（図3-24参照）

①ベースプレート（コーナー柱用）の裏側から、コーナー柱（ベース仕様）を【9-4】で4ヶ所固定してください。（図3-25参照）

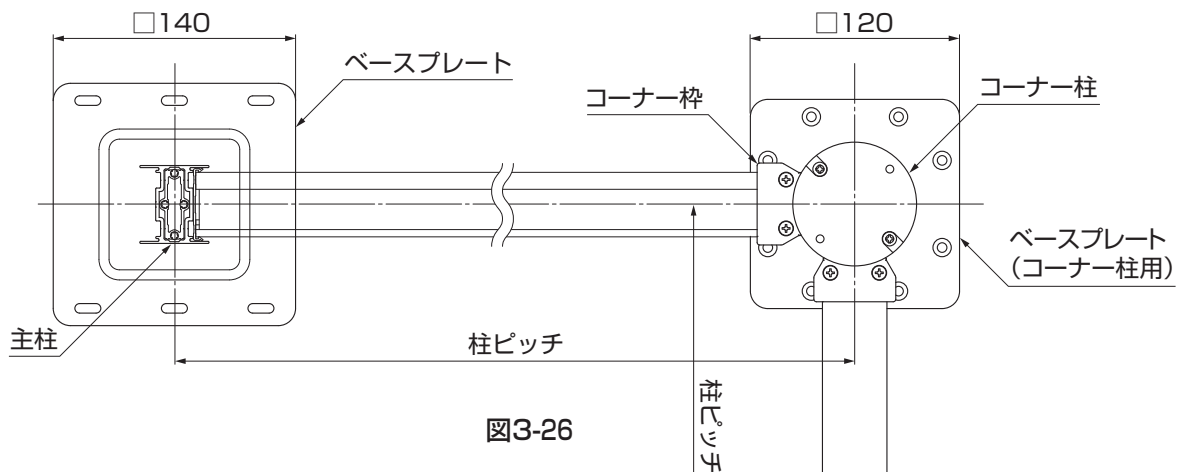



図3-26

②主柱のベースプレートと、コーナー柱のベースプレート（コーナー柱用）が芯一芯でならぶように配置し、柱の固定位置を決めてください。（図3-26参照）

補足

●コーナー柱を使用する場合は、柱ピッチが異なるので注意してください。「1.基本寸法図」を参照してください。

3. つづき

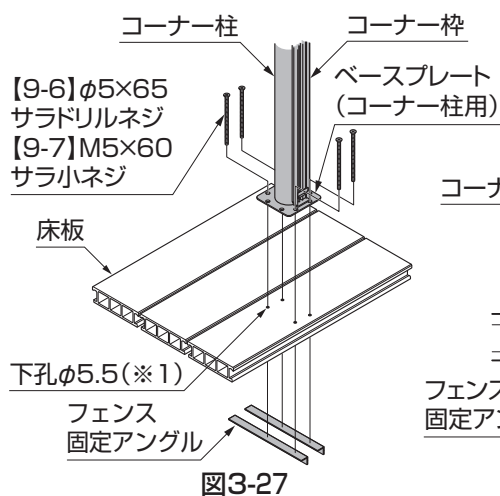



図3-27

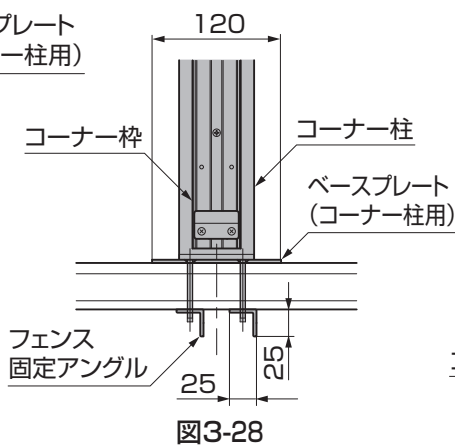



図3-28

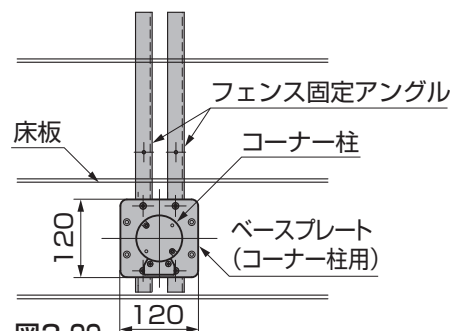



図3-29

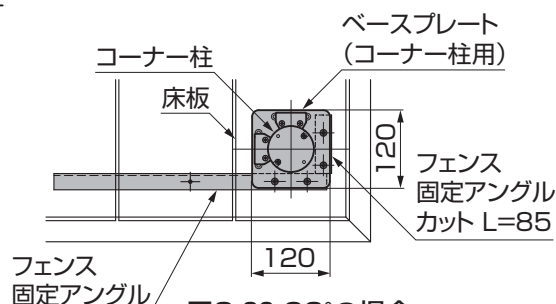



図3-30 90°の場合

③ネジ位置をマーキングしてください。
④マーキングした床板にφ5.5下孔をあけてください。(※1)
⑤フェンス固定アングルの位置を合わせて【9-6】、【9-7】でベースプレートを固定してください。

ポイント
- ●ベースプレート(コーナー柱用)は【9-6】、【9-7】で合計4ヶ所以上固定してください。

補 足
- ●柱ー柱間のピッチは、下桟を仮置きするなどの方法で、正しく計測してください。
- ●コーナー角の対応角は180°～60°です。
- ●フェンス固定アングルの位置は、納まりにより異なります。

3-4 コーナー枠の取付け

表3-1

対応角度	
出隅コーナー	入隅コーナー
60°～180°	60°～180°

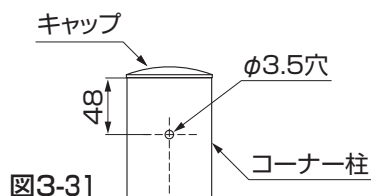



図3-31

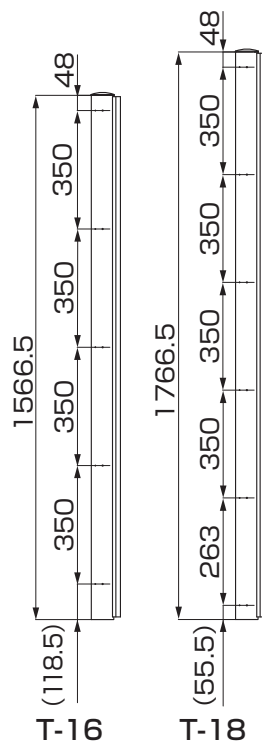
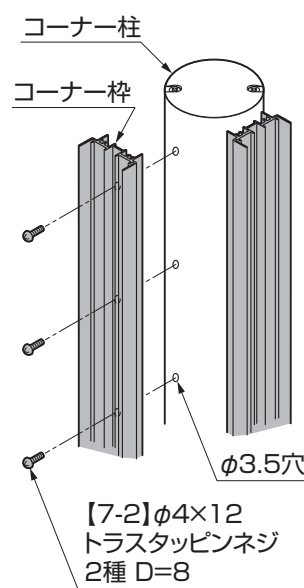
①コーナーの角度を決めてください。

ポイント
- ●コーナーは通常60°～180°です。

②コーナー角度に合わせて、コーナー柱にドリルでφ3.5の穴をあけてください。(図3-31、図3-32参照)
③コーナー枠を【7-2】でコーナー柱に取付けてください。(図3-33参照)

図3-32

図3-33

E290_200902A

4. フェンス本体の取付け

4-1 主柱・端柱の場合（T-16・T-18）

【4-2】φ4×12
トラスタッピンネジ2種 D=8
主柱キャップ
外側
内側
【4-1】φ4×10
トラスタッピンネジ
1種 D=8
上段フェンス本体
多段クッション材
主柱
下段フェンス本体
側枠
【4-2】φ4×12
トラスタッピンネジ
2種 D=8
下ブラケット

図4-1　主柱の場合

【5-2】φ4×12
トラスタッピンネジ2種 D=8
端柱キャップ
外側
内側
【5-1】φ4×10
トラスタッピンネジ
1種 D=8
上段フェンス本体
多段クッション材
端柱
下段フェンス本体
側枠
【5-2】φ4×12
トラスタッピンネジ
2種 D=8
下ブラケット

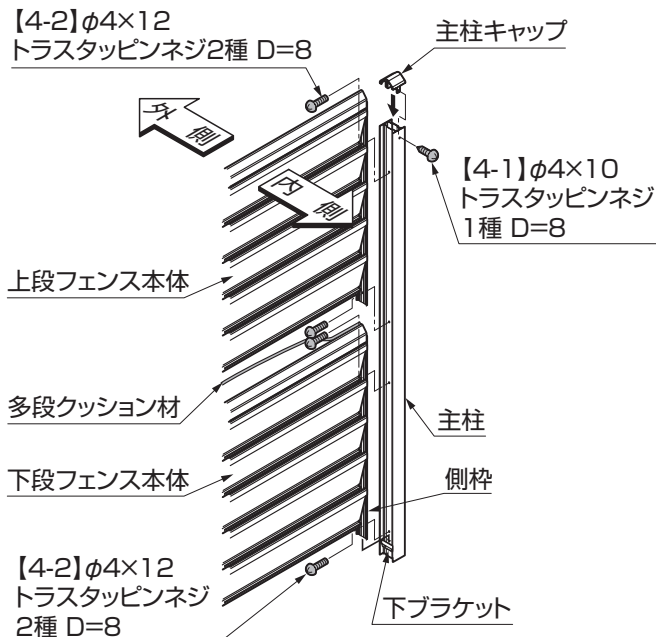
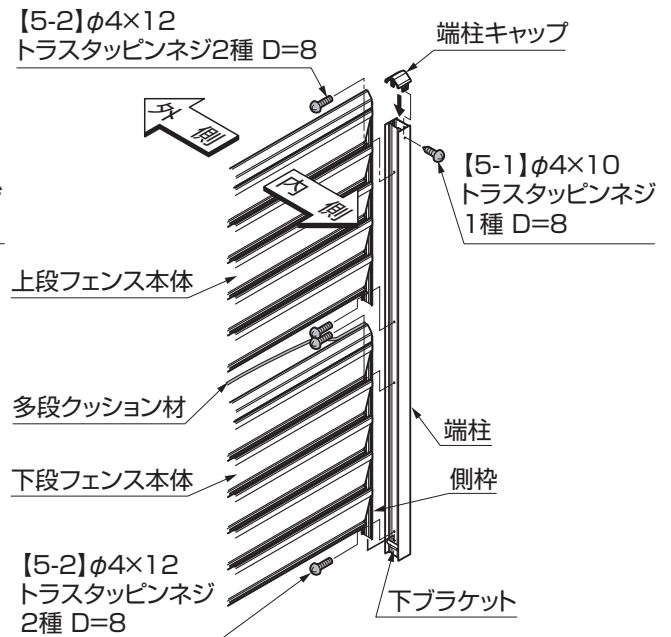



図4-2　端柱の場合

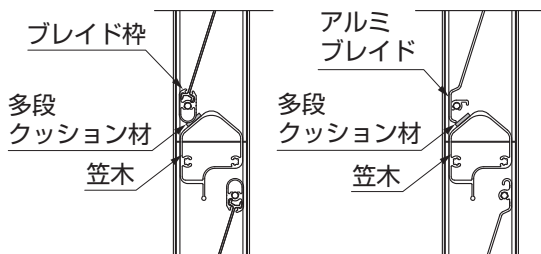



図4-3　S型・M型　　図4-4　A型

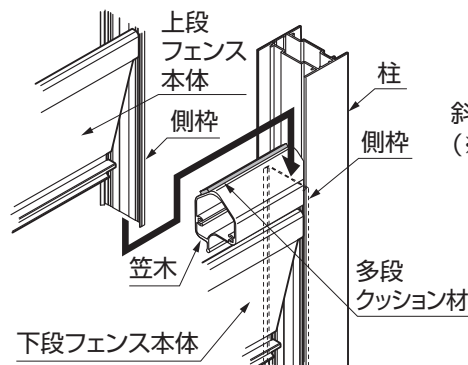
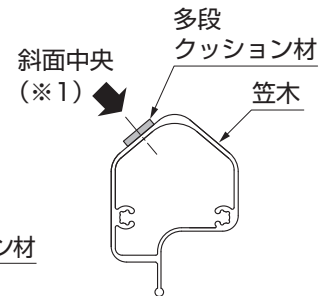



図4-5　　図4-6

①側枠を下ブラケットに差込んでください。
②下段フェンス本体を【4-2】（【5-2】）で主柱（端柱）に固定してください。
③多段クッション材を図4-3（図4-4）のように笠木の斜面中央（※1）に貼付けてください。
④上段フェンス本体を下段フェンス本体の上に取付けてください。

ポイント

●多段クッション材を斜面の端に貼付けたり、曲がって貼付けると意匠や機能上に不具合が生じます。中央部をまっすぐに貼付けるようにしてください。（※1）（図4-6参照）
●上段フェンス本体の側枠を下段フェンス本体の笠木と柱の隙間に差込んでください。（図4-5参照）

⑤上段フェンス本体を【4-2】（【5-2】）で主柱（端柱）に固定してください。
⑥主柱（端柱）に主柱キャップ（端柱キャップ）を差込み、【4-1】（【5-1】）で固定してください。

ポイント

●目隠しや通気方向を変えたい場合には、フェンス本体の表裏を入換えることも可能です。（取付方法は本説明と同様です。）
●主柱キャップ（端柱キャップ）を差込む際には斜めにならないように注意してください。斜めに差込むと破損したり削りカスが露出するおそれがあります。

4. つづき

4-2 コーナー柱の場合（T-16・T-18）

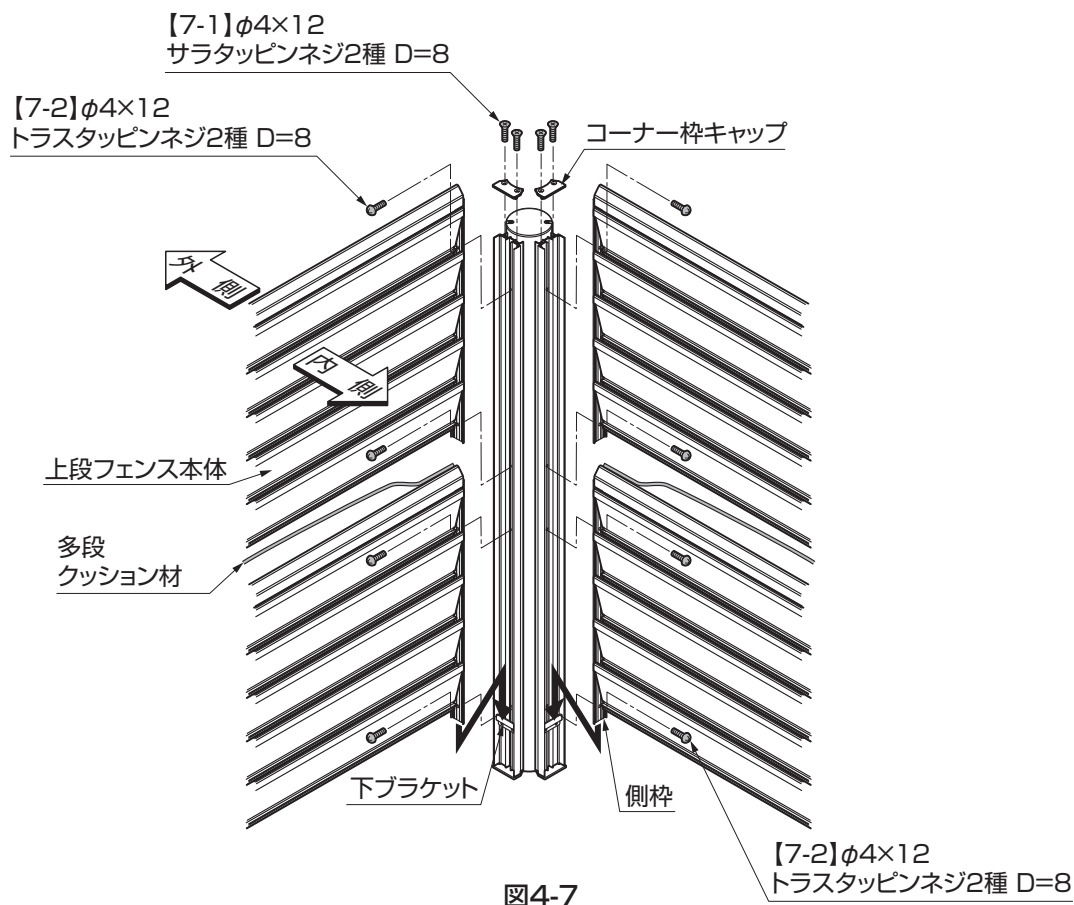



図4-7

①側枠を下ブラケットに差込んでください。
②下段フェンス本体を【7-2】でコーナー枠に固定してください。
③多段クッション材を図4-3（図4-4）のように笠木の斜面中央に貼付けてください。
④上段フェンス本体を下段フェンス本体の上に取付けてください。

ポイント

●多段クッション材を斜面の端に貼付けたり曲がって貼付けると意匠や機能上に不具合が生じます。中央部をまっすぐに貼付けるようにしてください。（※1）（P14、図4-6参照）
●上段フェンス本体の側枠を下段フェンス本体の笠木と柱の隙間に差込んでください。（図4-5参照）

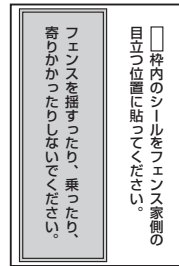
⑤上段フェンス本体を【7-2】でコーナー枠に固定してください。
⑥コーナー枠にコーナー枠キャップを差込み、【7-1】で固定してください。

ポイント

●目隠しや通気方向を変えたい場合には、フェンス本体の表裏を逆にして取付けることも可能です。（取付方法は本説明と同様です。）

5. 注意シールの貼付け

□枠内のシールをフェンス家側の目立つ位置に貼ってください。

フェンスを揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。

①必ず注意シールをフェンス本体または柱家側の目立つ位置に貼ってください。

注 意

●注意シールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

6. フェンス本体の切詰め

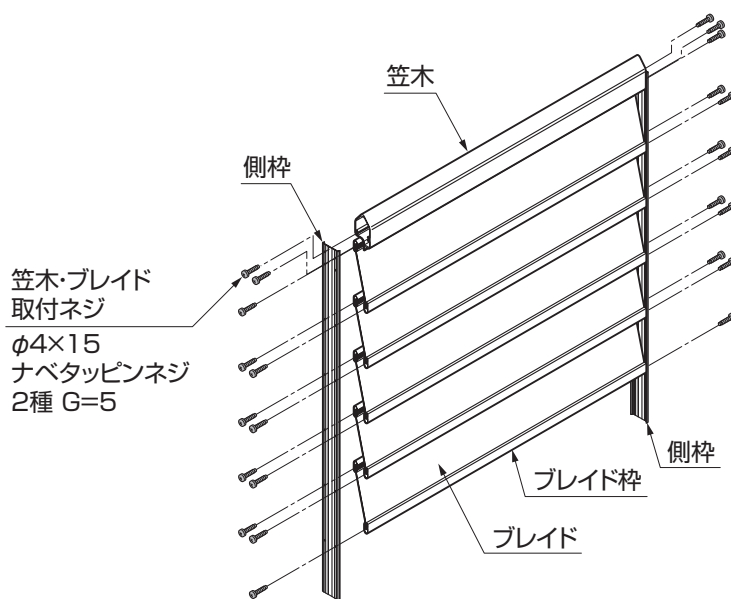



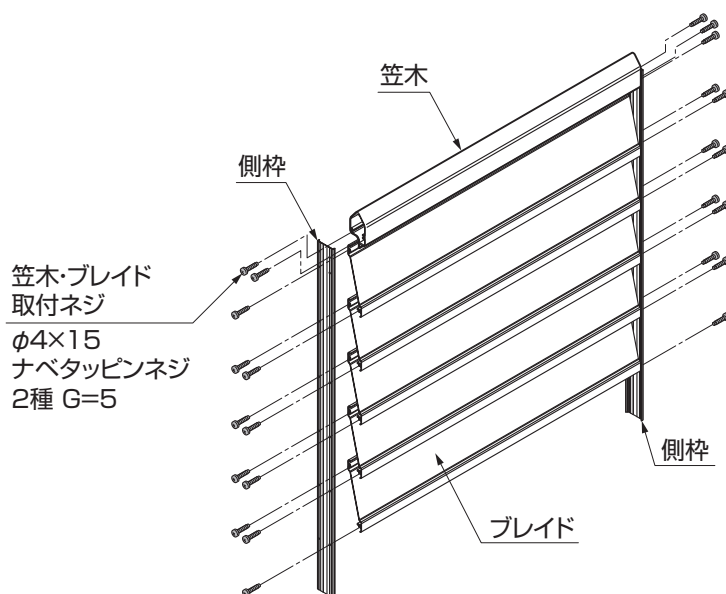
図6-1　S型・M型

図6-2　A型

①「笠木･ブレイド枠取付ネジ」を外し、各部材を取外してください。（図6-1、図6-2参照）

ポイント

●外したネジは再利用するため、捨てないでください。

E290_200902A

6. つづき

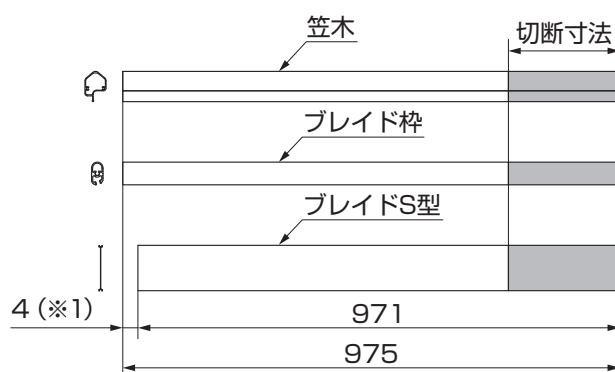



図6-3　S型の場合

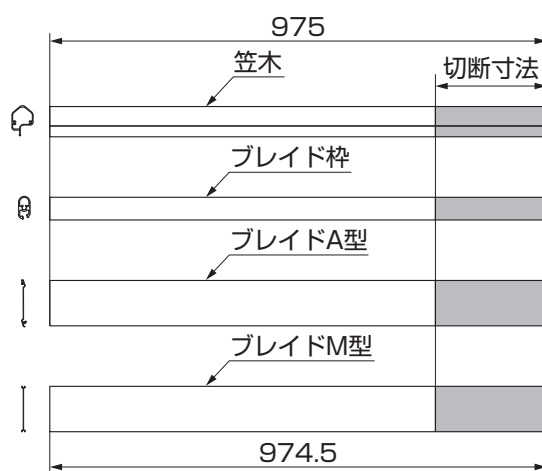



図6-4　A型・M型の場合

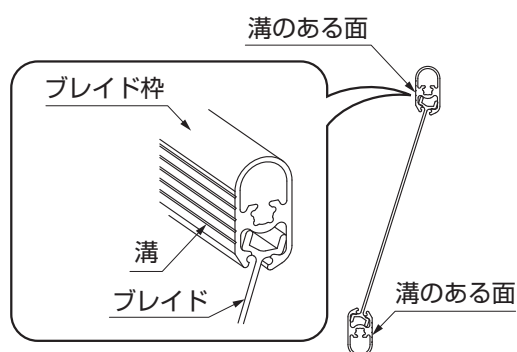



図6-5　ブレイドの挿入

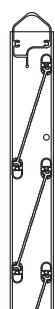
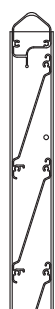



図6-6　S型・M型　　図6-7　A型

⚠注 意

●ケガ防止のため、切断面はヤスリ等でバリ取りを行ない、鋭利な角部は丸めてください。

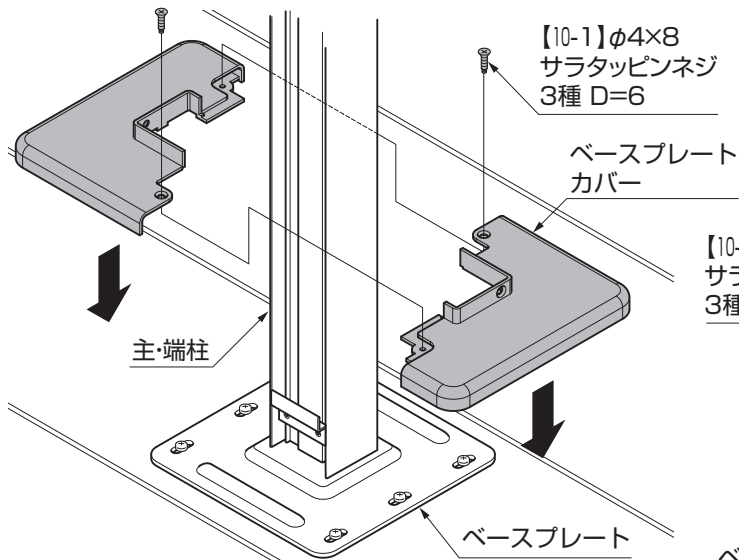
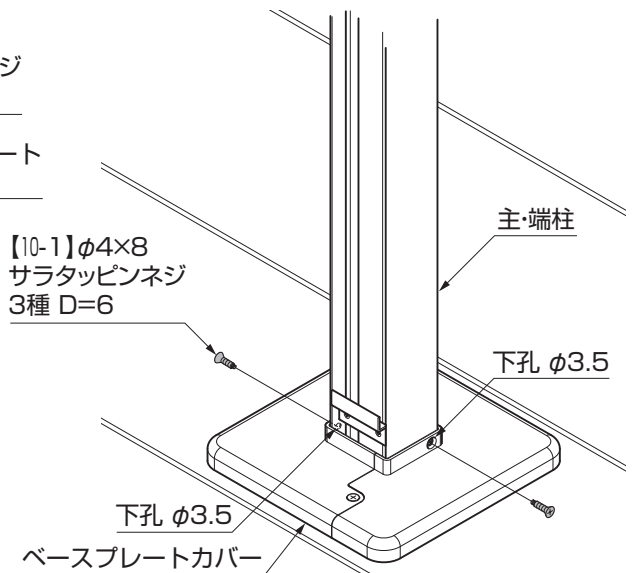
②笠木・ブレイド枠・ブレイドをノコギリを使い切断してください。（図6-3、図6-4参照）

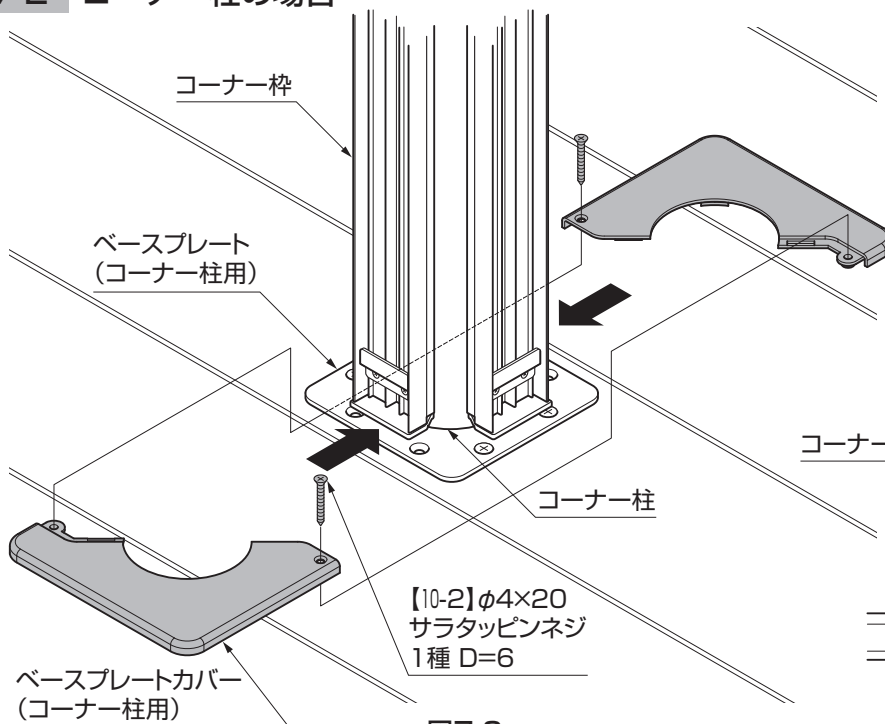
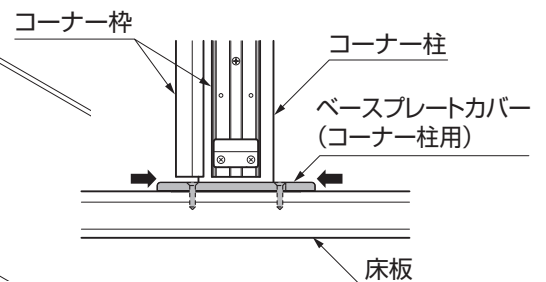
ポイント

●樹脂ブレイドは気温の変化で伸縮し易いため必ず笠木・ブレイド枠より4㎜短くしてください。（※1）
●樹脂ブレイドの切断に電動ノコギリを使用すると、割れるおそれがありますので注意してください。

③S型・M型の場合は、図6-5のようにブレイドをブレイド枠に挿入してください。
④ブレイドや笠木を図6-6・図6-7のように配列し「笠木・ブレイド枠取付ネジ」にて取付けてください。（図6-1、図6-2参照）

7. ベースプレートカバーの取付け

7-1 主・端柱の場合

①ベースプレートカバーを図の向きで柱を囲むように組んでください。
②【10-1】でカバー同士を固定してください。
③柱にベースプレートカバーのネジ位置にそってφ3.5の下孔をあけてください。
④ベースプレートカバーを柱に【10-1】で固定してください。

7-2 コーナー柱の場合

①ベースプレートカバーを、床板とコーナー枠のすき間に、図の向きで柱を囲むように組んでください。
②【10-2】でカバー同士を固定してください。ネジは床板に直接固定してください。